

のぼりべつ

広報

11/1

1996

No.553



病気に負けないからだづくりを考えようと、10月13日(日)「第9回ののぼりべつ市民健康まつり」がしんた21で行われました。

会場では、血圧や体脂肪などの測定や、歯科相談などの各種相談のほか、いすに座ったままでビーチボールを打ち合う「チェアボール大会」など、たくさんの催し物が行われ、訪れた約1,300人の市民は、健康の大切さを改めて感じていました。

主な内容

- ・登別市功労者表彰・市民表彰受表彰者の紹介
- ・市民レポート「登別市のエンゼルプランについて」
リポーター 山本久美子さん
- ・登別市の財政状況の公表
- ・きらり 日高山脈1500m以上の峰、全踏破
神原照子さん

平成8年度

登別市功労者表彰

登別市民表彰

登別市功労者表彰

登別市功労者表彰・市民表彰は、永年にわたり登別市の行政や社会福祉などに貢献した方、また模範となる行いをされた方の功績をたたえるものです。

このたびの受彰者は、市功労者は2名、市民表彰者は自治貢献表彰3名、社会貢献表彰7名、教育文化貢献表彰1名、善行表彰2名で、表彰式は11月3日(日)文化の日に市民会館で行われます。



中村正信さん(73歳)

鷺別町6丁目13番地3

永年にわたり登別市消防団分団長として消防使命の達成に尽力され、郷土防災に寄与されました。



遠藤征子さん(62歳)

鷺別町2丁目32番地1

永年にわたり医師として地域医療の向上に尽力されるとともに、予防接種医及び学校医として伝染病の予防と児童生徒の健康管理に寄与されました。

登別市民表彰

自治貢献表彰

南 武さん(69歳)

登別温泉町107番地
多年にわたり登別市固定資産評価審査委員会委員として地方自治の振興に貢献されました。

小杉山 與次郎さん(79歳)

登別温泉町17番地
多年にわたり町内会長として地方自治の振興に貢献されました。

大島 隆さん(66歳)

新生町3丁目16番地6
多年にわたり町内会長として地方自治の振興に貢献されました。

社会貢献表彰

古池 辰夫さん(68歳)

美園町5丁目5番地16
多年にわたり登別市交通安全指導員として交通安全思想の啓発並びに交通事故防止に貢献されました。

吉田 忠一さん(55歳)

新川町4丁目1番地11
多年にわたり登別市交通安全指導員として交通安全思想の啓発並びに交通事故防止に貢献されました。

篠崎 憲久さん(45歳)

新川町4丁目1番地13
多年にわたり登別市交通安全指導員として交通安全思想の啓発並びに交通事故防止に貢献されました。

伊達 豊子さん(63歳)

中央町2丁目6番地2
多年にわたり登別消費者協会会長として消費者保護並びに消費生活の向上に貢献されました。

半田 久男さん(63歳)

若草町2丁目6番地10
多年にわたり登別保護区の保護司として社会福祉の向上に貢献されました。

野村 範子さん(64歳)

幌別町4丁目1番地2
多年にわたり母子相談員として母子家庭並びに寡婦の福祉増進に貢献されました。

吹越 愛子さん(63歳)

片倉町3丁目28番地2
多年にわたり登別市母子寡婦の会会長として母子家庭並びに寡婦の福祉増進に貢献されました。

教育文化貢献表彰

高澤 哲三さん(77歳)

新川町2丁目37番地6
多年にわたり体育団体役員並びに指導者として体育の振興に貢献されました。

善行表彰

木下 信正さん(74歳)

鷺別町3丁目19番地7
平成8年8月5日鷺別漁港で高波にさらわれた男性を発見し、自己の危険を顧みず救助にあたり人命を救助されました。

澤田 正志さん(48歳)

若草町1丁目8番地7
平成8年8月5日鷺別漁港で高波にさらわれた男性を発見し、自己の危険を顧みず救助にあたり人命を救助されました。





市民リポーター
山本 久美子 さん
(新川町・34歳)

10数年以上前にOLの間で「寿退職」（結婚退職の意）という言葉が流行していたのは、みなさん記憶にありますか？それが今では寿退職は減少し、退職するのは妊娠出産時に仕方なくと、女性の意識が変わってきています。

また女性の結婚適齢期の年齢も上がり、それに伴い子どもを産む数（出生率）も減少し、少子化問題がクローズアップされるようになりまし。

私は、夫の転勤により仕事をやめ、専業主婦歴4年目。息子も3歳になり、そろそろ社会復帰したいと思っても、年齢制限や中途採用制限、託児問題などが重なり、希望に合う職場はなかなかありま

せん。ましてや2人目の子どももほしいとなれば、現状を維持するしかありません。仕事はしたいのですが…。私と同じ思いをしている女性はどれだけのいるのでしょうか。そう考えていたところ、今春、ある新聞に子育て支援策「北海道エンゼルプラン」という記事が目

に飛び込んできました。「エンゼルプラン」について詳しく知りた

いと思っていたところ、なんと登別市でもエンゼルプランの策定に取り組んでいるということ、

登別市エンゼルプラン

への取り組み

「エンゼルプランとは？」

「国は、子どもを産み・育てやすい社会環境を整えるため、企業、職場、地域社会をも含めた社会全体での取り組みについて、厚生省、文部省、労働省、建設省の4省合意により平成7年度から概ね10年計画で策定しました」

「地方のエンゼルプランの取り組みは？」

「全国で217の地方自治体が、国のエンゼルプランに基づいて取り組みを始めています」

「今年度、北海道、登別市のはか、4市1町が策定中です」

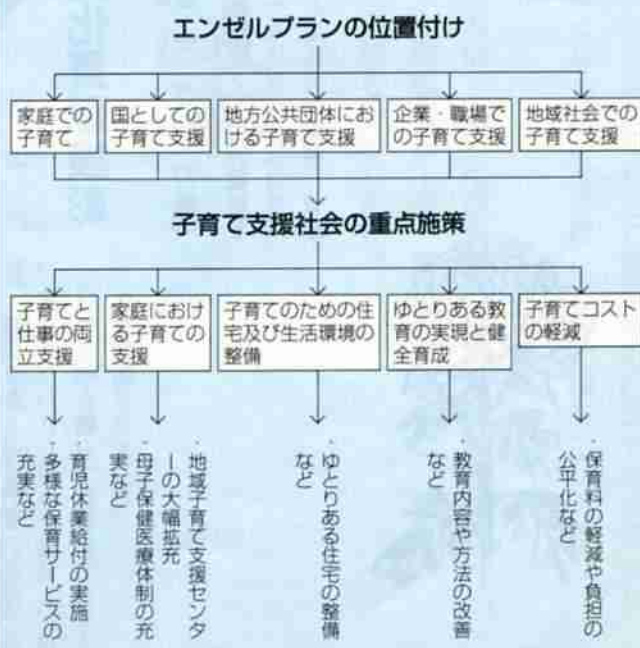
「登別市が他の市町村に先がけて取り組んだ理由は？」

「高齢化や少子化の時代背景にいち早く対応し、市民の声に答えるのがゆえですね。出来る限り最善の努力を心がけています」



▲登別市エンゼルプランについて取材する山本リポーター

国のエンゼルプランの概要



登別市のエンゼルプランは、現在策定のために、子育ての意識調査などを行ったり、市役所内に職員による策定検討委員会を設置し、内部での検討を進めているそうです。実際にエンゼルプランが策定されるのは、今年度末になるとのことでした。

この取材の中で一つ残念に思われたのが、このプランの庁内策定検討委員会の委員27名中、女性は2名。組織的理由は理解できないわけではありませんが、子育てに関する問題だからこそ女性をもっと参加させてほしいと思いました。

千葉主査は、「今後、広く市民の意見をお聞きするため、協議会を発足させる予定ですので、この中には、女性に多く参加していただこうと考えています」と、話してくださいました。

地域全体で子どもを育てよう

登別市ファミリーサポートセンター

8月の広報ですで紹介された「登別市ファミリーサポートセンター」も登別市のエンゼルプランの一つとして開設されました。

ファミリーサポートセンターは、子どもを育てながら働く方が、保育所の送り迎えや急な残業などのとき、その手助けを行い安心して仕事と育児を両立させたり、子育てに専念するお母さんが、時には子育てを離れてスポーツやショッピング、講演会を開きに行くときなど、自分の時間を持つためのお手伝いなど、子育ての援助を受けた方（依頼会員）と援助をした方（提供会員）の相互支援組織で、子育てを地域全体で支えようというものです。

ファミリーサポートセンターがあるのは全国でもたった10カ所、道内では登別市が初めてだそうです。

登別市の子育てに関する意識調査の状況

子育てについての市民意識調査

(平成7年度実施)

理想の子ども的人数



実際の子どもの人数



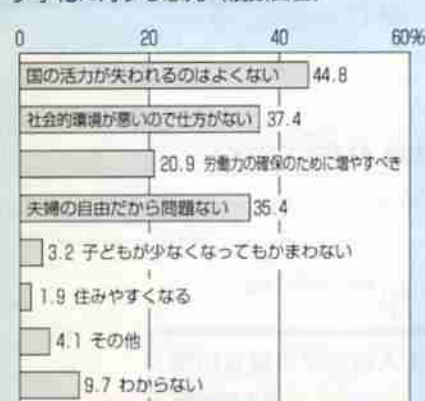
家事全般についての分担状況 (炊事・洗濯等)



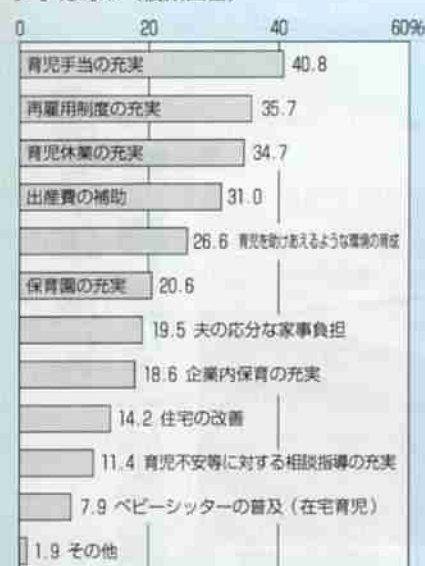
少子化問題について

(平成6年度実施市民意識調査)

少子化に対する意見 (複数回答)



少子化対策 (複数回答)



▲ファミリーサポートセンターのアドバイザーさんと

センターは、登別市主任児童委員の福川さん、ボランティア活動歴2年の棚田さん、登別子ども劇場会長の丸山さんの3名がアドバイザーとなり、子どもを預ける側と預かる側の橋渡し役になります。現在、12月からの活動開始に向け、会員を増やすため、幼稚園や学校、事業所などの訪問活動を行っているとのことでした。

入会金や会費はなく、会員登録さえしておけば、子どもを預けたときに預けられ、一方、預かる側もあくまでボランティアなので、都合のよいときに預ければよいとのこと。保育時間の開始や終了前後の一時預かりや施設への送迎、学校の放課後、母親が病気のとき、子どもが病気で仕事も休めないときなど、子どもの面倒を見てもらえます。(預けるときは1時間につき500円かかります)

親類のいないこの地で、出産・育児をしてきた私にとっては、大変ありがたい制度が発足されたと思っています。

会員は随時募集中です。提供会員がまだ少ないとのこと、「各々の知恵と技術で、社会の宝」をみんな育ててほしい」と、アドバイザーの福川さんは話していました。

専業主婦も、何らかの形で社会貢献したいと日ごろから思っているはず。子育てに忙しい毎日を送っている私のような立場でも、支援できる内容だと思います。私もさっそく相互援助の精神で、依頼会員と提供会員の両方に登録させてい

社会の意識を変えよう

このように女性が働き続けられる制度が整っても、男性の意識が変わらなければ、社会は変わりません。

例えば、男性の育児休暇の取得は「取りたいけど男のくせに」と思われるのがいやだ」とか、職場でも「奥さんがいるのになんかどうして？男は仕事優先だろう」とか、共働きで子どもが病気になるたら「妻が休むのが当然」など、子育てや家事は「女性の仕事」という考えが根深くあります。

結婚観にしても、男性が求めるもの家庭の在り方と女性が求めるものとでは、すでに結婚前から平行線。もしかすると、この男女差概念は、女性のみが出産できる生命体である限り、永遠のテーマなのかもしれません。

「子どもはたくさんほしい。それじゃあ、たくさん産みましょう。育てましょう」と思える社会福祉、社会環境を望みたい。

家を社会に、柱を子どもに置きかえたとき、今の日本では家を支える柱が一本づつ減り、家が崩れかけています。

今の子どもたちが大人になったとき、その壊れた家(社会)で、どう生活するのでしょうか。

今の日本の人口では、合計特殊出生率が2.08を下回ると人口が減る計算になるそうです。平成7年の日本の合計特殊出生率は1.43。確実に家が崩れはじめています。

※合計特殊出生率：一人の女性が一生の間に何人の子どもの産むかを示す数値。

登別市の財政状況の公表

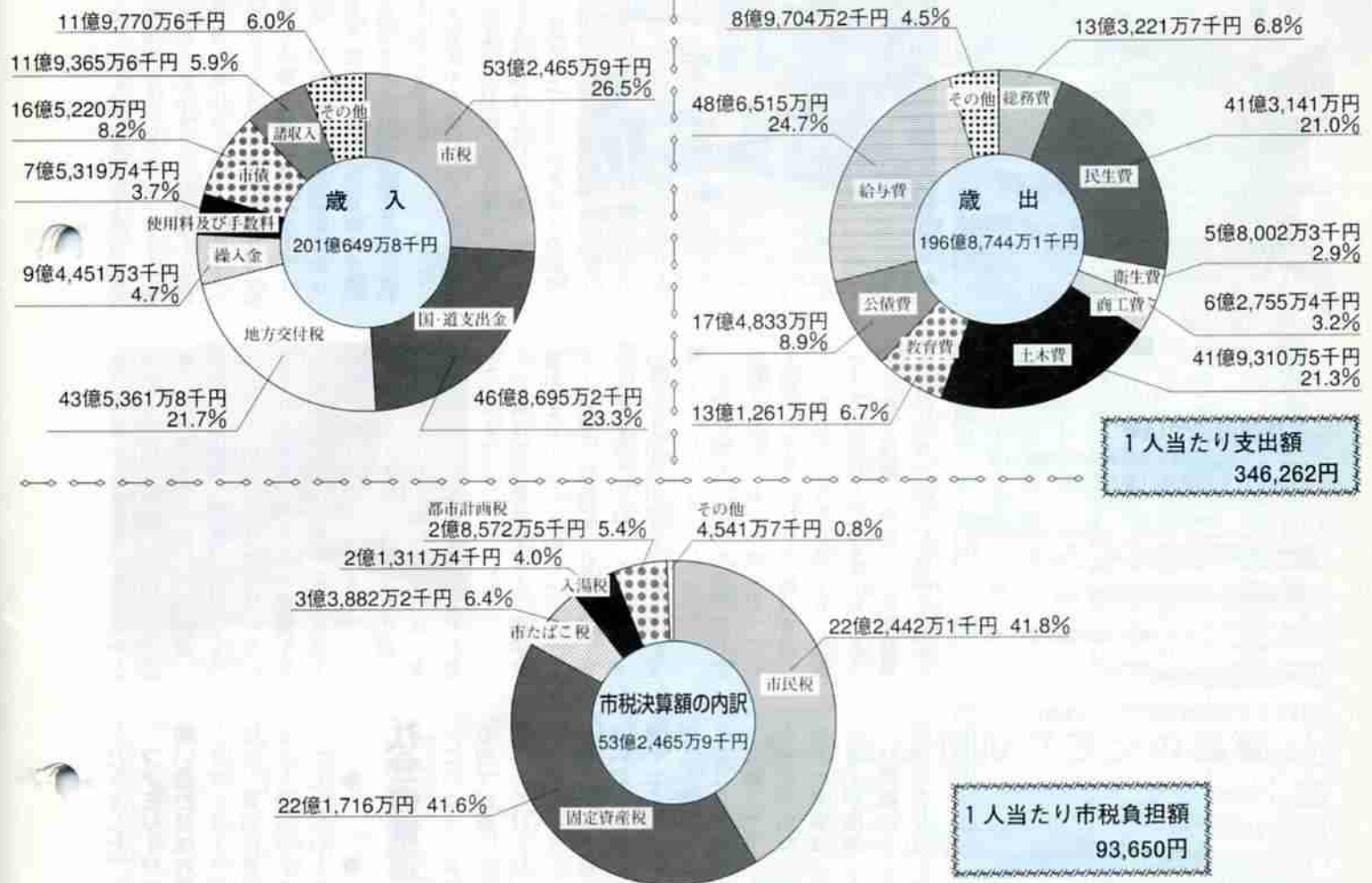
市がいろいろな事業を進めていくうえで、これに要する費用がどのように調達（歳入）され、どのように使われたか（歳出）をお知らせし、市の財政状況を正しく理解していただくため、毎年2回、公表を行っています。

今号では、平成7年度決算（見込）と平成8年度上半期（4～9月まで）の状況を表とグラフでお知らせします。

平成7年度決算額調（見込）

一般会計

（平成8年3月末現在の人口156,857人）



総務費

- ・登別市文化・スポーツ振興財団出えん金 5,000万円
- ・TVh登別ミニサテライト局新設事業 803万円
- ・OA化推進事業 4,070万円

民生費

- ・福祉施設敷地購入費 5,660万円
- ・交通安全施設整備事業 7,283万円

衛生費

- ・千歳最終処分場整備事業 5,068万円
- ・一般廃棄物処理施設整備事業調査費 5,838万円
- ・清掃工場整備事業 2,719万円

千歳最終処分場は、厚生年金・国民年金の保険料積立金から融資を受けて整備を進めています。



▲ロードヒーティングされた若草こ線人道橋

平成7年度に
実施した主な事業

市有財産の内訳（平成7年度末）

| | |
|--------|-----------------------------|
| 土 地 | 5,343,234.09 m ² |
| 建 物 | 247,651.05 m ² |
| 基金等 現金 | 3,515,212千円 |
| 基金等 土地 | 141,938.56 m ² |
| 債 権 | 753,917千円 |
| そ の 他 | 240,876千円 |

市が支払わなければならない債務（平成7年度末）

| 区 分 | 債 務 の 残 高 | | | 市民1人当たりの債務 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| | 元 金 | 利 子 | 合 計 | |
| 市 債 | 239億5,151万9千円 | 115億3,249万6千円 | 354億8,401万5千円 | 62万4,092円 |
| 債 務 負 担 行 為 | 6億3,676万5千円 | 1億1,026万9千円 | 7億4,703万4千円 | 1万3,139円 |
| (株)登別振興公社 | 7億7,742万8千円 | 4,787万9千円 | 8億2,530万7千円 | 1万4,515円 |
| 登別市土地開発公社 | 33億5,680万円 | 7億3,933万8千円 | 40億9,613万8千円 | 7万2,043円 |
| 合 計 | 287億2,251万2千円 | 124億2,998万2千円 | 411億5,249万4千円 | 72万3,789円 |

*市債については、一般会計、下水道会計、給食会計の合計です。

*（株）登別振興公社の利子については、変動利率のため、金融情勢によって変わります。

*登別市土地開発公社の利子については、平成11年度までの毎年度利子相当額と平成12年度から10ヵ年で計画的に債務解消を行った場合の推計です。

特別会計



労働費

- ・雇用対策救援事業 3,352万円

農林水産業費

- ・札内営農用水施設整備事業負担金 6,760万円
- ・来馬第1地区道営農免農道整備事業負担金 3,548万円
- ・水産物荷捌き施設整備事業補助金 1,218万円
- ・鷺別漁港関連道整備事業負担金 1,650万円

商工費

- ・観光振興特別対策事業補助金 4,000万円

消防費

- ・救急自動車購入事業 2,743万円
- ・防火水槽、消火栓整備事業 2,111万円
- ・北海道総合行政情報ネットワーク整備事業負担金 1,206万円



▲血圧計や自動心マッサージ器が整備された救急自動車

状況 (平成8年9月30日現在)

一般会計 予算総額 219億5,712万5千円

◎収入済額 82億3,183万2千円

| 市 税 | 予算額 | 54億4,698万円 | 24.8% | |
|--------|------|--------------|-------|--|
| | 収入済額 | 24億7,524万1千円 | 45.4% | |
| 地方交付税 | 予算額 | 44億1,560万円 | 20.1% | |
| | 収入済額 | 30億7,160万5千円 | 69.6% | |
| 国・道支出金 | 予算額 | 51億8,284万2千円 | 23.6% | |
| | 収入済額 | 12億8,787万1千円 | 24.8% | |
| 繰入金 | 予算額 | 16億2,370万5千円 | 7.4% | |
| | 収入済額 | 0円 | 0% | |
| その他 | 予算額 | 52億8,799万8千円 | 24.1% | |
| | 収入済額 | 13億9,711万5千円 | 26.4% | |

◎支出済額 83億3,038万円

| 総務費 | 予算額 | 12億6,218万円 | 5.8% | |
|-----|------|--------------|-------|--|
| | 支出済額 | 5億8,929万8千円 | 46.7% | |
| 民生費 | 予算額 | 45億1,986万2千円 | 20.6% | |
| | 支出済額 | 16億3,754万5千円 | 36.2% | |
| 土木費 | 予算額 | 56億2,694万7千円 | 25.6% | |
| | 支出済額 | 14億1,581万8千円 | 25.2% | |
| 公債費 | 予算額 | 18億889万円 | 8.2% | |
| | 支出済額 | 8億5,425万8千円 | 47.2% | |
| 給与費 | 予算額 | 52億3,428万1千円 | 23.8% | |
| | 支出済額 | 23億4,556万9千円 | 44.8% | |
| その他 | 予算額 | 35億496万5千円 | 16.0% | |
| | 支出済額 | 14億8,789万2千円 | 42.5% | |

* 予算額の最後に表示してある数字は、予算全体に占める収入支出予算の構成割合。
収入・支出済額の最後に表示してある数字は、各目的ごとの収入支出割合。

予算額

収入・支出済額

土木費

- ・除雪等冬道対策事業 6,135万円
- ・簡易舗装、排水整備事業 5億281万円
- ・道路改良、舗装事業 3億7,919万円
- ・道道改良受託事業 19億1,422万円
- ・準用河川改修事業 7,154万円
- ・公園整備事業 2,431万円
- ・富岸公園新設事業 2,392万円
- ・街路整備事業 1億4,673万円
- ・公営住宅建替事業 7,362万円



▲改良された市道円山通(登別東町)

平成7年度に
実施した主な事業

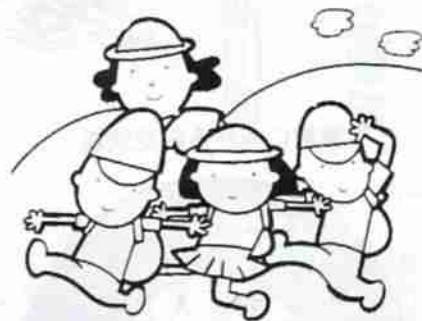
平成8年度予算執行

特別会計

| 会計名 | 予算額 | 歳入 | | 歳出 | |
|---------|------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| | | 収入済額 | 予算に対する収入済額の割合 | 支出済額 | 予算に対する支出済額の割合 |
| 国民健康保険 | 48億3,760万円 | 10億9,816万円 | 22.7% | 21億8,550万6千円 | 45.2% |
| 学校給食事業 | 3億9,630万円 | 8,990万6千円 | 22.7% | 1億7,382万1千円 | 43.9% |
| 公共下水道事業 | 28億3,850万円 | 1億3,346万円 | 4.7% | 7億7,583万9千円 | 27.3% |
| 老人保健 | 57億5,836万円 | 23億5,358万7千円 | 40.9% | 24億5,375万9千円 | 42.6% |

一時借入金の状況

| 会計名 | 借入額 |
|-------------|------|
| 一般会計 | 10億円 |
| 国民健康保険特別会計 | 10億円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 3億円 |



教育費

- ・教育施設水洗化事業 1,411万円
- ・小中学校整備事業 4,240万円
- ・幌別中学校暖房設備改修事業 1,133万円
- ・西陵中学校屋内運動場大規模改造事業 8,253万円
- ・幌別中学校屋内運動場改築事業 3億8,841万円
- ・文化伝承館建設事業 4,524万円

○学校給食事業特別会計

- ・給食センター整備事業 2,118万円

○公共下水道事業特別会計

- ・公共下水道污水管渠新設事業 16億9,392万円
- ・終末処理場建設事業 4億2,242万円

幌別中学校屋内運動場改築事業の建設費の一部は、「郵便局の簡易保険・郵便年金」の積立金から還元融資を受けているものです。



▲暖房などが整備された幌別中学校屋内運動場

平成7年度

水道事業会計決算状況



▲水量不足と低水圧解消のため新設された
美園配水池（美園町6丁目）

平成7年度水道事業会計の概況をお知らせします。

（給水状況）

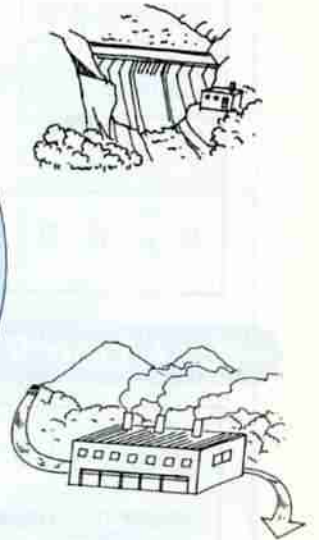
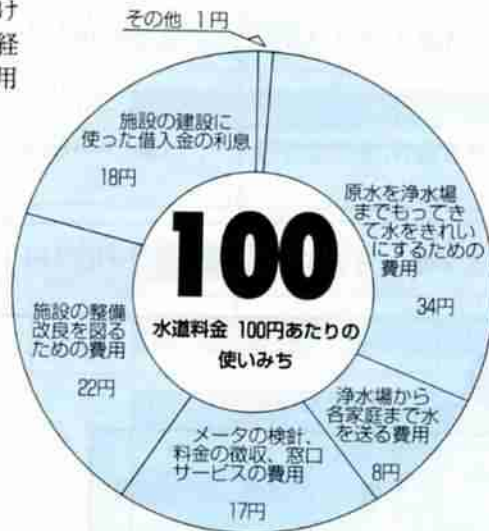
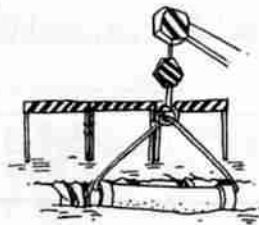
登別市の給水人口は54,950人となり、年間給水量は約480万㎡で、みなさんが一日に使用した量は一人平均279ℓとなっています。

（収支状況）

平成7年度は、経費の節減に努め、決算で5,856万円の純利益を生じました。この利益は、借入金返済のための積立金や施設の改良資金として使用されます。また、いつでも安全でおいしい水をお手もとに届けられるよう配水池の新設、さらには、配水管の新設や老朽配水管の布設替えなどを積極的に行いました。

★水道料金の使いみち

みなさんからいただいた水道料金は、水を送り続けるための運営経費や水道施設を整備改良するための経費、施設の建設に要した借入金の返済など、様々な用途に使われています。



※ 平成7年度決算による

営業にかかる収支決算



施設整備にかかる収支決算



長期借入金の残額(平成7年度末)

(単位:百万円)

| | |
|-----|-------|
| 元 金 | 2,494 |
| 利 子 | 1,823 |
| 合 計 | 4,317 |

平成8年度予算執行状況(平成8年9月30日現在)

(単位:千円)

| 区分 | 予算減額 | 執行額 | 執行率 |
|-------|------|---------|-------|
| 収益的収支 | 収入 | 389,275 | 47.5% |
| | 支出 | 296,374 | 34.2% |
| 資本的収支 | 収入 | 0 | 0.0% |
| | 支出 | 272,942 | 40.5% |
| 合 計 | 収入 | 389,275 | 30.7% |
| | 支出 | 569,316 | 37.0% |

きらり

日高山脈1500メートル以上の峰、全踏破

かんばら
神原 照子さん (新川町)



岳)や、現在まで続けている来馬岳毎月登山(85ヶ月継続)などというのがあります」

中高年者の登山ブームなど山登りを楽しむ人が年々増えています。登別にも山登りの魅力に引かれ、主婦であり、また看護婦という仕事をしながら、女性として初めて日高山脈の1500m以上の峰、43座すべてを踏破した記録を持つ方がいます。神原照子さん(51歳)。

登別山岳会の会員でもある神原さんに話を聞きました。

「山登りを始めたきっかけは、昭和41年富士製鉄病院に就職、当時、登山ブームだったこともあって、会社の山岳部に入部しました。それが山との出会いで現在まで続いています。30年間で登った山は、道内外と海外を合わせると約650回くらいになりますね。その中には、一日七連山踏破(樽前山、徳舜警山、ホロホロ山、オフロレ山、来馬岳、カムイヌブリ、鷲別

一日高山脈に引かれたわけは、「たとえば北アルプスなどは、

いろんなルートが知りつくされていますが、日高山脈はまだ未知の部分がたくさんあって、日本でこれだけいい山というのは少ないと思います。登山道がほとんどないところを、自分で地図を見て、どのルートを登ったらいいか調べて考える、それがたまたまなく充実していますね」

「自分の登りたい山に登れたときの満足感と、健康の面ではおもしろい汗を流せるというところがいいと思いますよ。」

「日高山脈では、1500m級の山はすべて登り、1400m級の山も残り2座だけになったので、これをなんとか登りたいということと、できるだけ多くのルートを登りたいですね」

「日高山脈では、1500m級の山はすべて登り、1400m級の山も残り2座だけになったので、これをなんとか登りたいということと、できるだけ多くのルートを登りたいですね」

神原さんは、30年間にわたる日高山脈の登山記録をひとつの区切りとして一冊の本(「日高に燃えて」)にまとめ、自費出版されました。これからもマイペースで登山を楽しんでください。

神原さんは、30年間にわたる日高山脈の登山記録をひとつの区切りとして一冊の本(「日高に燃えて」)にまとめ、自費出版されました。これからもマイペースで登山を楽しんでください。



▲日高山脈 ベテガリ岳(1736m)頂上にて(左から2人目が神原さん)

若山町の猪手栄子さんと登別の中村恵津子さんは、個人ボランティア

いきいきボランティア

在宅介護を応援!

洋裁リフォーム活動

現在、寝たきりのお年寄りを介護している家庭に出向き、介護する方は容易に、介護される方も着心地のよい下着や寝巻

お二人は、昨年の市民ボランティア講座を受講し、寝たきりのお年寄りなどの在宅介護の難しさを実感したそうです。

なかでも、下着や寝巻などの着替えは、介護する人にも大変な作業ですが、介護用の下着には前開きのシャツなどがあり、それを使用すると、着替えなどがとても容易になることを知りました。

ただ、このような介護する人にとって便利な下着は、値段が高いたことが欠点です。

二人にとって普通の丸首のシャツを前開きシャツにリフォームすることは、それほど大変なことではないと感じ、洋裁リフォーム活動を始めました。



洋裁が得意なお二人にとって普通の丸首のシャツを前開きシャツにリフォームすることは、それほど大変なことではないと感じ、洋裁リフォーム活動を始めました。

「洋裁が得意なお二人にとって普通の丸首のシャツを前開きシャツにリフォームすることは、それほど大変なことではないと感じ、洋裁リフォーム活動を始めました。」

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター
(☎0860)

芸術の秋、伝統芸能に拍手！ のぼりべつ伝統芸能まつり'96

登別市や日本の伝統芸能を広く市民に伝えようと、10月13日(日)市民会館で、「のぼりべつ伝統芸能まつり'96」が開かれました。

このまつりには、市内の文化団体などが参加し、登別市無形民俗文化財の札内神楽獅子舞や幌別鉦山獅子舞をはじめ、日本舞踊や津軽三味線、太鼓など、日ごろの練習の成果を披露しました。

集まった約500人の市民は、芸術の秋にふさわしい華やかな伝統芸能の発表に、多くの拍手を送っていました。



災害に備えて 職員非常参集訓練を行いました

10月15日(火)、市職員の非常参集訓練が行われました。

「午前7時25分、震度5弱の地震が起きた」という設定で、市職員は7時30分に自宅から本庁・各支所・緑陽中学校の非常参集場所に、徒歩や自転車などで次々に参集しました。

また、津波やがけ崩れなどの危険がある地区では、市の地区防災担当職員が町内会長宅へ出向き、被害状況について報告を受ける訓練もあわせて行われ、実際に地震が起きたときにはどのように行動すべきかを、再確認しました。



▲「札幌・のぼりべつ会」発足にあわせて行われた札幌のぼりべつ交流プラザのようす

東京圏の登別ゆかりの有志と協力し登別を盛り上げていこうという「東京ののぼりべつげんきかい」につづき、このたび札幌圏で、さまざまな分野で活躍している登別出身者や登別ゆかりの有志70名が集い、10月22日(火)に「札幌・のぼりべつ会」が発足されました。

同会は、情報交換を通してふるさと登別との交流を深め、さまざまなネットワークづくりやビジネスチャンスづくりをすすめる、「人が輝きまちがとぎめく、ふれあい交流都市ののぼりべつ(新総合計画キャッチフレーズ)」をつくりあげるため、登別をさらに飛躍させるために活動します。

人が輝きまちがとぎめく我らが故郷ののぼりべつ!!
札幌・のぼりべつ会発足

東 奔



いい湯だな〜

小学3年生が温泉体験入浴

地元の登別温泉の良さを知り、入浴マナーを学ぼうと、今年度から、市内の小学校3年生全員を対象に、温泉体験入浴が行われています。

この日は富岸小学校の児童が、温泉の歴史や入浴マナーについてお話を聞いたあと、実際に温泉に入りました。

みんな、温泉が大好きなようすで、肩までつかって温まり、ふるさとにすばらしい温泉があることの喜びを肌で感じていました。



知里真志保さんの顕彰碑が 移転されました

昭和48年に、太平洋を一望できる高台（登別本町）に建てられたアイヌ語学者知里真志保さんの顕彰碑が移転されました。

移転先は、知里真志保さんの母校である登別小学校に隣接する市有地で、10月7日(月)には移転工事完了を祝う式典（同碑保存会と登別まちづくり促進期成会の共催）が同校で行われました。

知里さんは、言語学者としてアイヌ語を研究するとともに、その文化や民俗を広く紹介し、昭和32年に52歳で亡くなるまで多くの業績を残しました。（郷土史点描でも特集しています）

仲間たち

切り絵サークル

刃先との真剣勝負



代表 川村良正さん
☎0548553

切り絵サークルは、平成4年2月に公民館講座で切り絵を習った方々が、これからも続けたいと集まり結成されました。

現在、会員は40〜60歳の男女7名で、第1・3木曜日の月2回、市民会館で作品づくりに取り組んでいます。

簡単なものは2時間ほどで完成しますが、大きな作品になると、細かな部分を時間をかけて切り抜き、絵に合った色和紙を裏側から張り付けて仕上げます。切り口の鋭さが、切り絵の美しさにつながるため、細かな部分は息を止めて、刃先に神経を集中させて切り抜くそうです。

9月に行われた胆振生涯学習

フェスティバルには、切り絵の体験コーナーにボランティアで参加し、たくさんの方が切り絵の楽しさを体験しました。

文化祭にも毎年出品し、今年も11月25日からの市民会館サークル展を目指して、みなさん真剣に取り組んでいます。

代表の川村さんは、「器用、不器用関係なく、みんな切り絵が好きで、いい作品を作ろうと頑張っています。いつか自分で図柄を考えたいオリジナル作品を作ることが目標ですね」と、楽しそうに話してくれました。

切り絵サークルでは、会員を募集しています。詳しくは川村さんまでご連絡ください。

知里真志保の

顕彰碑をたずねて

78



▲大正5年、登別小学校創立20周年の記念写真。
知里真志保が2年生のころ。(全員が着物姿である)

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

昭和36年(1961年)、52歳の生涯を終えたアイヌ語学の世界的学者、知里真志保を称えた「顕彰碑」が、彼の母校である登別小学校校舎前に移設された。

顕彰碑の建立は、登別に住む室中同窓生を中心に、地元有志や多くの人たちにより、郷土の誇る偉大な言語学者の偉業を讃え、その功績を後世に伝え、また霊を慰めたい、という趣旨からで、13回忌の命日にあたる昭和48年6月9日に蘭法華の高台にたてられた。

アイヌ語地名研究の第一人者で北海道曹達株式会社社長・会長を務めた故山田秀三氏の寄稿碑文もあり、4月におよぶ黒花崗岩の碑石も立派である。

真志保の碑の中心に、姉幸恵が18歳の時に東京の金田一京助に送ったアイヌ神謡集の、梟の神の自ら歌った謡「銀の滴降る降るまわりに」の文が記されているが、しかし碑文には「銀のしずく、降れ降れ、まわりに」になっている。

このあたり、真志保がアイヌの

過去の歴史を代表して熾烈な戦いに挑んでいた表れがあったと推測されるが如何であろうか。

さて、真志保が登別小学校に入学したのは大正4年(1915年)で、今は現在の位置に約230平方メートルの木造校舎があった。この年、登別と登別温泉間に馬車鉄道が開通し登別駅前も賑わいをみせはじめたところだが、電燈のないランブ生活の時代で、登別小学校開校百周年記念誌の大正11年3月卒業生の写真は、男女とも着物姿「夏は下駄か手作りの草履、冬はわら靴で通学した」という当時の卒業生たちの思い出話がある。

真志保の小学校時代は、彼の同窓生らの聞きとり調査を、点描22・23号で紹介したが、ひょうきんで他愛のないイタズラをしていた天真爛漫な少年であった。さて、偉大な言語学者を育んだ大地の周囲を巡検してみよう。

登別小学校前の、富浦の高台から登別本町1・2丁目の境を通り登別東町の国道へぬける道路は、124年前に開設した「札幌本道」そのままの道のである。

また、登別小学校の北西側はサケがのぼる豊かな登別川が流れ、上流へサンテ(キムンタイ・紀文台の高台から川の方へはり出した出っぱり)の西側は「イチヤヌ」といわれたサケやマスの豊かな産卵場で、むかし、川の両岸は深い森に囲まれ、学校の辺りから西に

かけて、カツラが群生している所の「ランコウシ」の地名があった。現在も、登別小学校の校門をトンボ広場に進むと、右手の一段と低い川原に面するところに、見事なカツラの大木が2本見えるのも地名を実証している。

学校は、旧札幌本道からみて一段高い位置にあり、春や晩秋の樹の葉のない季節には、校舎の窓からも、川を挟んだ対岸の川沿いの彼の家からも、真志保の言う「海見える、川のある丘に住みたい」場所であったように思う。

海への執着は、登別川の流れる前浜でのハタハタ漁の記録や、登別小学校の南側高台は、海の幸を折る祭り場のハシナウシで、更に西へ進むと、我が国でも珍しい堅穴式のアンプルバル(あの世の入り口)の伝説の場所、また登別駅南側のフンベサバ(鯨・頭)も海に関わり伝承の豊かな地域である。

登別に実在した、アイヌの呪文や呪文・歌謡(遊戯・踏舞・熊狩踊り・祭り・舟歌など)や謡われる叙事詩・散文物語りなど、数多く紹介した真志保の学問的考證は、他の追隨を許さない深さがある。

登別小学校の周辺や登別川を挟んだ対岸は、偉大な姉幸恵や金成マツも過ごし、数多くの文学を結晶させた生活の原点でもあり、顕彰碑を是非訪ねてもらいたいと思う。

あらかると

情

第32回市民文化祭のほりべつ'96

「市民作品展」作品募集

- ▼募集作品 絵画、書道、写真、華道、工芸、文芸などで壁、机上、床展示が可能な作品
- ▼展示期間 11月30日(土)～12月3日(火)
- ▼場所 市民会館

※作品搬入は11月29日(金)の13時から14時まで。

- ▼申し込み・問い合わせ 11月20日(水)までに文化・スポーツ振興財団(☎1116)

市民ミニバレーボール大会

参加者募集

- ▼日時 11月23日(土)8時30分受付
- ▼場所 総合体育館
- ▼対象 市内に居住または通勤する成人で編成したチーム
- ▼参加料 無料
- ▼種目 男子の部・女子の部(男女混成チームは男子の部に含む)
- ▼チーム編成 1チーム6名(補欠2名を含む)
- ▼試合方法 予選リーグ・決勝トーナメント方式
- ▼申し込み 11月12日(火)までに総合体育館に備え付けの所定の用紙に記入しチーム単位で申し込みください
- ▼問い合わせ 総合体育館(☎5552)

「公開ケース研究会」を開きます

「社会を明るくする運動」特別地区実施委員会

「非行少年」と呼ばれる少年たちを、内面からむしばんでいる「現代的な不幸」とはなにか。事例を通してその根底に潜んでいる問題を考えます。

それぞれの立場から何をなすべきか、何ができるのかを一緒に考え話し合ってみませんか。

多くの市民の方の参加をお待ちします。

なお、当日は保護司、更生保護婦人会、PTAなどの関係者も参加し10人程度のグループに分かれて自由に発言していただきます。

- ▼日時 11月11日(月) 13時～16時
- ▼場所 市民会館中ホール
- ▼申し込み・問い合わせ 社会福祉課(☎1911)

「はまもと洋カルテック リスマスコンサート」公演

- ▼日時 12月4日(水) 開場18時、開演18時30分
- ▼場所 市民会館大ホール
- ▼入場料 1千500円
- ▼チケット取扱所 市民会館、市役所内母子会売店、アーニス
- ▼曲目 トップオブザワールド、A列車で行こうなど

- ▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財団(☎1116)

TVh(テレビ北海道)の本放送が11月15日(金)から見られます

TVh観別

サテライト局が、11月15日に開局(予定)されます。



(10月17日から試験電波発射)開局により11月15日から、観別エリアのご家庭でも受信可能になります。

一部のご家庭では、アンテナの調整が必要になる場合がありますので電器店などに相談し、きれいな映像でご覧ください。

なお、観別エリアでのチャンネルは19チャンネルです。

- ▼問い合わせ 市民課(☎1855)

11月11日～11月17日は

税を知る週間です

「暮らしを支える税」をテーマに、税の意義や役割について理解を深めていただくため「'96タックスフェア」を開催します。

- ▼月日 11月11日(月)、11月12日(火)
- ▼時間 11時～16時
- ▼場所 登別サテイ
- ▼内容 市内の小・中学生による税金相談コーナー(11日のみ10時30分～16時)、税関コーナー

- (偽ブランド商品など)
- ▼問い合わせ 室蘭税務署(☎224151)

登別郵便局からのお知らせ

①郵便番号が7けたになります

平成10年2月2日から、郵便番号が7けたになります。

新郵便番号制は、郵便物処理の機械化を大幅に拡大し、郵便事業の効率化を図り、良質なサービスを安定的に行うために導入します。

新郵便番号簿は平成9年8月以降に各家庭に配付する予定です。

②普通郵便物の配達順路の変更

集配区画の増加に伴い、より効率的に配達できるよう配達順路を変更したため、配達時間に変更になっている地域があります。

ご理解とご協力を願います。

③お年玉つき年賀はがき11月1日発売開始

お年玉つき年賀はがきは、無地(50円)のほかにお正月にちなんだカットを印刷したものなど全部で5種類販売しています。郵便局などでお買い求めください。

- ▼問い合わせ 登別郵便局(☎4427)

ヘルシーフェスティバル'96

登別厚生年金病院主催

- ▼日時 11月14日(木) 10時～15時
- ▼場所 登別厚生年金病院
- ▼内容 栄養相談コーナー、介護

教室、体力測定など

- ▼問い合わせ 登別厚生年金病院庶務課(☎2165)

家事家計講習会

室蘭友の会は、家計簿のつけ方やお弁当の工夫について考える講習会を開きます。

- ▼日時 11月15日(金) 10時～12時
- ▼場所 鉄南ふれあいセンター
- ▼参加料 400円(当日450円)
- ▼託児料 100円(予約が必要、おやつ付き)
- ▼申し込み・問い合わせ 岩田さん(☎1664)

講演会地域に生きる「小樽運河と共に」

自然愛好グループヨシキリの会主催

- ▼日時 11月9日(土) 13時30分
- ▼場所 市民会館
- ▼講演者 峰山富美(小樽再生フォーラム顧問、元運河を守る会長)
- ▼入場料 500円
- ▼問い合わせ 伴野さん(☎7515)

訂正とおわび

広報のほりべつ10月15日号3ページの「驚別2丁目、3丁目配水管布設工事のお知らせ」の地図内の登別市学校給食センターは室蘭市東学校給食センターの誤りでした。訂正しおわびします。

あんなに
これなにか?



あなか
行火とやぐら

外側のしかくいのが「やぐら」で、中に「あなか」が入っているんだよ。
あなかの中に熱した炭を入れて、やぐらを置いて、その上からふとんをかぶせて、天板をのせて、コタツのように使った。
電気あなかが出まわる昭和30年代まで使われていたんだよ。
北海道では、寒い冬は入っブをたいて、あなかはちよつと寒い秋や春先に使われていたんだけど、本州では冬のおいだじゅう、あなかだけで過ごしていたんだって。あなかだけで寒くなかったのかな。
(登別市郷土資料館展示品)

人のうごき

●人口 57,220(-38)
●世帯 22,878(-10)
()は前月比

平成8年9月末日現在

となりまち

ホットライン

室蘭市

天皇杯全日本サッカー選手権大会(2回戦)を観戦しませんか



Jリーグ、JFLのプロチームと社会人、学生などのアマチュアチームの間で優勝が争われる天皇杯全日本サッカー選手権大会が、道内では初めて室蘭で開催されます。

▼日時 11月10日(日)13時キックオフ

▼会場 入江運動公園陸上競技場

▼試合内容 コンサドーレ札幌×和歌山大学の勝者と、三洋電機×五戸町役場SCの勝者同士の対戦

▼入場料 S席2千円、自由席大人1千円・高校生800円・小中学生500円(前売券)

▼チケット取扱先 入江陸上競技場、市体育館、丸井デパート、ローソン・生協各店

▼詳細 室蘭地区サッカー協会(山本さん) (0143)696966

伊達市

第46回全道高等学校演劇発表大会をご鑑賞ください



第46回全道高等学校演劇発表大会が伊達市で開催されます。全道各地の予選を勝ち抜いてきた優れた高校演劇を、どうぞご鑑賞ください。

▼日時 公演は11月8日(金)~10日(日)の3日間。8日は14時50分~18時50分、9日は9時30分~20時10分、10日は9時30分~17時30分

▼場所 カルチャーセンター(松ヶ枝町・国道37号沿い)

▼出場校 全道13地区の代表18校(西胆振地区からは室蘭清水丘、室蘭商業、伊達緑丘の3校が出場)

▼入場料 500円(小学生以上・全日程)

▼チケット取扱先 カルチャーセンター

▼詳細 伊達緑丘高校同大会事務局 (0142)51515

(0142)30022

(0142)30022

(0142)30022

(0142)30022

(0142)30022

(0142)30022

(0142)30022

(0142)30022